



アジア連帯委員会（CSA）ホームページで振り返る 2019年9月～2020年8月の出来事ダイジェスト

目次

2019.10.02	▶ 第39回定期総会を開催	38
2019.10.08	▶ 第36次救援衣類を送る運動 集荷倉庫訪問	39
2019.10.21	▶ 駐日ラオス大使館へ表敬訪問	40
2019.10.23	▶ 第40回「日本定住難民のつどい」が開催されました	41
2019.11.11	▶ 第36次救援衣類を送る運動 集荷と輸送状況	42
2019.12.06	▶ 連合茨城「救援衣類を送る運動タイ視察」の報告	43
2019.12.06	▶ ラオス厚生省へ救援衣類輸送に関する緊急要請を実施	44
2019.12.10	▶ ラオス建国44周年レセプションに出席しました	45
2020.01.15	▶ 第36次救援衣類がタイとラオスの衣類倉庫に届きました。	46
2020.02.03	▶ 2020年ワーキング・スタディ・ツアー 成功裏に終了し、帰国しました	47
2020.03.31	▶ 常任理事会、評議員会を開催しました。	48
2020.05.15	▶ 「第37次救援衣類を送る運動」集荷日程延期のお知らせ	49
2020.06.15	▶ ラオス・シェンレーナ村小学校井戸再設置工事完了	50
2020.07.06	▶ ラオスクツサンバット村小学校校舎塗装補修完了	51
2020.07.10	▶ ラオス・サンティパープ高校生寮から 卒寮式の写真と感謝メールが届きました。	52
2020.07.27	▶ ラオス・サンティパープ高校へマスクと体温計を寄贈しました。	53
2020.08.31	▶ 第40回常任理事会、第20回評議員会を開催しました。	54



2019.10.02 第39回定期総会を開催



▶ 連合代表の挨拶



▶ 事務局長の報告・提案



▶ 新会長の挨拶

9月27日(金)、アジア連帯委員会は連合会館で、役員、代議員、傍聴者67名が出席し、第39回定期総会を開催しました。

総会では、細川常任理事が司会を務め、UAゼンセンの浅山代議員が議長に選出され、浅山議長により議事が進められました。冒頭、山根木副会長が代表挨拶をした後、来賓として出席した連合の逢見会長代行が挨拶しました。

その後、鈴木事務局長が2018年度事業報告を行った後、スクリーンで、「2018年度事業報告アルバム」と「タイ衣類引き渡し式」を上映報告し、確認されました。さらに、2018年度会計決算報告を行い、大濱監事が同監査報告を行い、確認されました。

引き続き、協議事項に入り、鈴木事務局長が、2019年度事業計画、2019年度予算について提案し、満場一致で決定された後、和田常任理事が役員の一部改選について提案し、確認されました。さらに、新役員に選出された小西常任理事と澤田会長が挨拶しました。次に、山根木副会長が顧問の委嘱について提案し、確認されました。

最後に浅山議長が退任挨拶、細川常任理事が閉会挨拶し、総会を終了しました。



2019.10.08 第36次救援衣類を送る運動 集荷倉庫訪問



▶ 集荷された衣類



▶ 倉庫視察参加者



▶ セイノー通関の説明

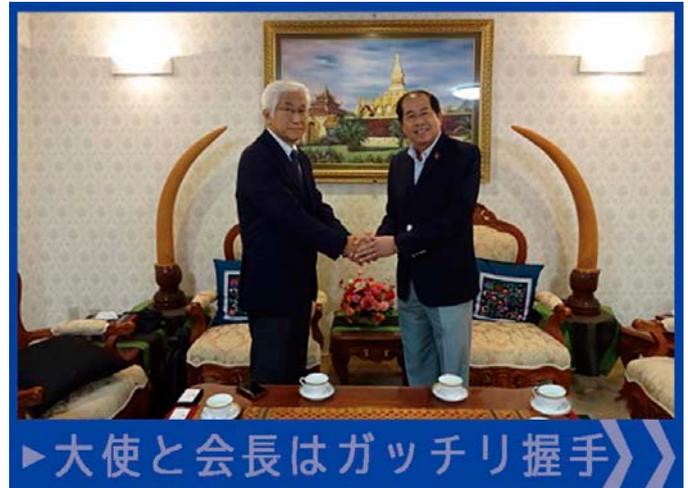
10月7日(月)、アジア連帯委員会は、10月7日(月)～11日(金)に救援衣類が集荷されるセイノー通関倉庫を訪問し、救援衣類を確認しました。

鈴木事務局長と交通労連の鎌田部長、東亜道路労働組合の三浦委員長、松本書記長、事務局の森会計担当は、江東区新木場のセイノー通関倉庫を訪問し、全国から集荷された救援衣類を確認しました。

セイノー通関の海野さんの説明では、「①集荷期日前に送られてきた衣類がかなりあったが、期間厳守で送ってほしい、②今週前半に届いた衣類はラオス向けに送る予定、③今のところCSAシールは貼られている。④ラオス向けの衣類は10月15日に、タイ向けの衣類は10月17日にそれぞれ東京港を出港予定」とのことでした。



2019.10.21 駐日ラオス大使館へ表敬訪問



10月17日(木)、アジア連帯委員会の澤田新会長、鈴木事務局長が駐日ラオス大使館に表敬訪問し、ヴィロード スンダラー駐日ラオス大使と面会しました。

この訪問は、9月27日開催した第39回総会により新たに選出された澤田会長が就任の挨拶を主たる目的に、CSAの主要事業と今日的課題について意見交換する為に行われました。

はじめに澤田会長から就任の挨拶とともに、CSAの事業沿革等について話しました。

スンダラー大使から、表敬訪問に対する謝意とCSAの永きに亘る支援に対し心から感謝している旨の謝辞をうけました。

次に今日的な課題のひとつとして、救援衣類の輸送に関する課題について鈴木事務局長から説明しました。この課題について、大使から駐日ラオス大使館として、本国の担当者との間で、大使館ができる最大限の連携をしますと言及されました。

今回の表敬訪問を機に、CSAと駐日大使館との連携・情報共有を推進することを確認できたことで有意義な訪問となりました。



2019.10.23 第40回「日本定住難民のつどい」が開催されました



10月20日(日)、アジア福祉教育財団主催の「第40回日本定住難民のつどい」が、新宿区立新宿文化センターで開催され、鈴木事務局長が出席しました。

同つどいは、1982年(昭和57年)から開催されており、CSAも当初から出席しています。

昭和50年代、インドシナ半島では共産主義者から政治迫害を受けた難民が大勢発生し、多くは海に逃げましたが、運よくボートピープルとして日本に流ついたインドシナ難民は、暫くの間日本での定住が認められるようになりました。しかし、彼らの生活は苦難の連続でCSAの前身であるインドシナ難民共済委員会も、難民の皆さんに日本語を教えたり、衣類を提供したり、子ども達に文具を提供したりして支援しました。

同財団は、インドシナ難民を励ますための「日本定住難民のつどい」を開催するようになり、2010年(平成22年)からはミャンマー難民の受け入れも行われるようになりましたので、それ以来、ミャンマー難民も参加した「つどい」が毎年開かれています。

記念式典では模範難民定住者として、ベトナムのフィン・ロン・クワンさんが表彰されました。表彰式の後には、ミャンマー民族舞踊、カンボジア民族舞踊、ラオス民族舞踊、ベトナム民族舞踊等が披露されました。



2019.11.11 第36次救援衣類を送る運動 集荷と輸送状況



▶ 東京港から船で輸送されタイの港に到着しました
コンテナ船



▶ 東京港から船で輸送されタイの港に到着しました
バンコク港



▶ 新木場の倉庫に集荷された中古衣類

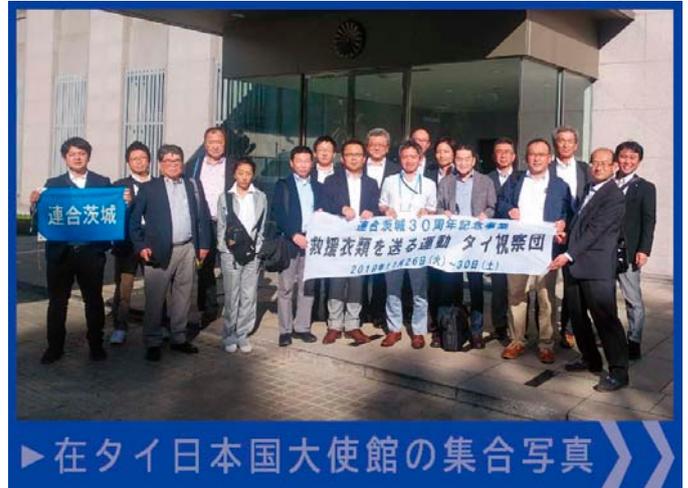
10月7日～11日に新木場のセイノー通関倉庫に集荷された「第36次救援衣類を送る運動」の衣類箱数は、8,214箱、40フィートコンテナ13本に達しました。ご協力ありがとうございました。

救援衣類の集約内訳と輸送状況

輸送先	ラオス	タイ	合計
ダンボール数	3,632箱	4,582箱	8,214箱
東京出港日	10月17日	10月23日	
タイの港着	10月31日	11月7日	
衣類倉庫着	ラオス・タイとも11月下旬予定		



2019.12.06 連合茨城「救援衣類を送る運動タイ視察」の報告



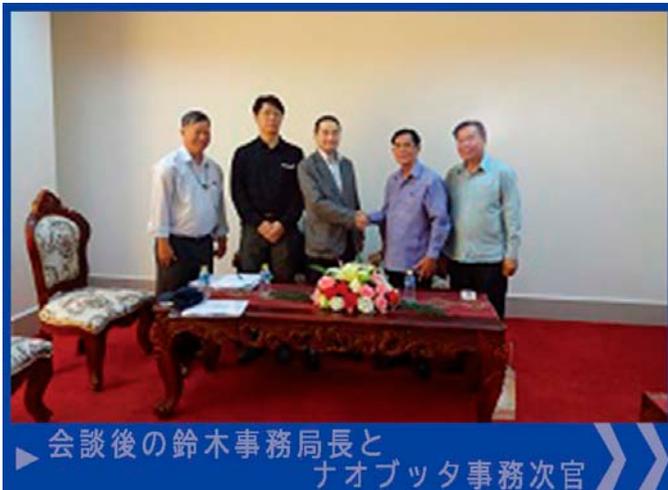
11月27日（水）連合茨城結成30周年記念事業「救援衣類を送る運動タイ視察」に鈴木事務局長が同行し、タイ社会開発福祉省救援衣類倉庫の視察と、在タイ日本国大使館を訪問しました。

タイの救援衣類倉庫では、今年10月の台風による輸送遅延等もあり訪問4日前の11月23日（土）に到着したばかりの衣類倉庫の視察となりました。視察団のメンバーは連合茨城経由で送られた段ボールがあることを実際に見ることができた事と、その後の意見交換ではタイ社会開発福祉省の幹部と活発な意見交換を行いました。午後からは在タイ日本国大使館に移動し、連合派遣の岡本書記官（基幹労連）からタイの経済・社会・雇用情勢等の現状を聞き、この場でも予定時間を延長するほど多くの質問があり、有意義な訪問となりました。

11月30日（土）視察団は全日程を予定どおり視察を終え、17名の全団員元気に帰国し、連合茨城救援衣類を送る運動タイ視察団は成功裏に終了しました。



2019.12.06 ラオス厚生省へ救援衣類輸送に関する緊急要請を実施



11月28日（木）鈴木事務局長は、ラオス厚生省を訪れナオブッタ事務次官並びにソムチット局長と会談し、第36次救援衣類を送る運動の輸送に関する緊急要請を行いました。これは連合茨城タイ視察でバンコク出張の日程の中で、関係者の協力を得てCSAの業務としてビエンチャンに移動し、ラオス厚生省トップと面会することができました。要請の主な内容は、CSAを支援する団体・個人から寄せられた救援衣類の輸入に関する現状確認と可及的速やかに対応して欲しい事項を率直に要請しました。

CSAに救援衣類支援を求めるラオス行政府の当事者であるナオブッタ事務次官は、「CSAを通じて日本から送られる救援衣類は永年に亘り継続的に送って頂いていることに深甚の敬意と感謝を申し上げます。本日の要請は真摯に受け止め早速諸対応を実行する」と述べました。

その後、事務局長はラオスの救援衣類倉庫に移動し、救援物資担当責任者と面会し情報交換を行いました。その中で2019年は昨年以上に水害・地震等の天災が多く発生し、CSAから送られた救援衣類は非常に被災者から喜ばれたことや、日本から送られる中古衣類は品質が良いので年間を通じて必要性に応じて適時配布しているとの報告を受けました。

2019.12.10 ラオス建国44周年レセプションに出席しました



12月1日(日)、鈴木事務局長は、駐日ラオス大使館で開催された「ラオス建国44周年祝賀会」に出席しました。

祝賀会冒頭、スンダラー大使は、「ラオスは幾多の困難な歴史を経て、現在のラオス人民民主共和国を建国し、日本等の支援を得ながら安定した国家として44年が経過した。日本の多くの人々の支援と協力に対し、敬意と感謝を申し上げる」と挨拶しました。

式典後の交流会では、スンダラー大使、ブッタヴォン参事官に事務局長からCSAとしての祝意を伝えるとともに、スリデート書記官とは現在対応中の救援衣類輸送問題での連携を確認しました。また、来賓として出席していた山田外務省南東アジア局長、橋本日本ラオス協会会長らと懇談し、日本からラオス(ビエンチャン)への直行便が来春熊本から就航する事による効果等について意見交換をしました。



2020.01.15 第36次救援衣類がタイとラオスの衣類倉庫に届きました。



▶ タイ社会開発福祉省の倉庫に届きました。



▶ ラオス保健省の倉庫に衣類が届きました。

第36次救援衣類を送る運動で、昨年10月7日～11日に集荷した中古衣類がタイとラオス政府の衣類倉庫に届きました。

タイ向け衣類4,582箱(40f.コンテナ7本)は、台風の影響で出港が予定より遅れ、10月23日に東京港から船で輸送され、11月7日にバンコク港に到着しました。通関・荷揚後タイ社会開発福祉省の衣類保管倉庫には11月23日に届けられました。

その後、11月27日には、連合茨城救援衣類を送る運動タイ視察団がタイの衣類倉庫を訪問し、担当者との意見交換するとともに届いた衣類を確認しました。

ラオス向け衣類3,632箱(40f.コンテナ6本)は、10月17日に東京港から船で輸送され、10月31日にタイのレムチャバン港に到着しましたが、CSAの再三の要請にもかかわらず、昨年同様にラオス政府の救援衣類の輸入認可に日数がかかってしまいました。

そのためCSAは、ラオスへの衣類の輸送に関して、駐日ラオス大使館ならびに外務省民間援助連絡室のご支援を仰ぎました。その結果、衣類は、1月13日にラオス保健省の衣類保管倉庫に到着しました。

今後は、それぞれの国で担当省庁から貧困者や被災者等衣類を必要としている人々に配布されます。また、1月28日からの2020年ワーキング・スタディ・ツアーの参加者がそれぞれの国の衣類倉庫を訪問し、衣類が届いていることを確認する予定です。



2020.02.03 2020年ワーキング・スタディ・ツアー

成功裏に終了し、帰国しました



▶ CSAがラオスへ寄贈したナラオ村小学校で



▶ ラオス衣類倉庫での救援衣類引き渡し式



▶ タイ社会開発福祉省主催の
救援衣類引き渡し式

1月25日～2月1日の日程で2020年ワーキング・スタディ・ツアーを実施しました。参加者は、山根木団長、薦田副団長を含む8名で、それぞれが役割を果たしながらラオス、タイでのアジア連帯委員会（CSA）の主要事業視察・交流を終え、無事帰国しました。



2020.03.31 常任理事会、評議員会を開催しました。



▶ 会議風景



▶ 会議風景

3月26日(木)、アジア連帯委員会は連合会館で第39常任理事会、第19回評議員会を開催しました。今回の会議は、現下の新型コロナウイルスの感染予防の為、換気、消毒等の諸対策を行い、さらに会議時間を短縮して行いました。

会議内容は第36次救援衣類を送る運動等の報告を行うとともに、新しいやり方による第37次救援衣類を送る運動の取り組み等について決定しました。

第19回評議員会には34名の評議員等が出席し、澤田会長の挨拶に続き、鈴木事務局長が①主な活動、②2020年ワーキング・スタディ・ツアーの実施、③小学校建設・補修、④高校生寮支援等について報告した後、ワーキング・スタディ・ツアーに参加した連合の山根木総合局長から視察团团長としての感想等が述べられました。

協議事項では事務局長が、第1号議案から順次提案し、今回の最重要議案である「第37次救援衣類を送る運動」を含む協議事項は、質問意見なくすべて承認・決定されました。

本年の救援衣類を送る運動からは、「輸送募金(1箱×1000円)の範囲内での衣類箱数」で実施することが決まりましたので、後日支援者の皆様に送付するチラシ等を是非ご覧ください。

また、今後の予定については、次回の常任理事会並びに評議員会は8月26日(水)に、第40回定期総会は[9月30日(水)]に従来どおり会議及び総会は連合会館で開催することが確認されました。



2020.05.15 「第37次救援衣類を送る運動」集荷日程延期のお知らせ



▶ ラオスへの衣類寄贈式 本年1月29日



▶ タイへの衣類寄贈式 本年1月31日

平素はアジア連帯委員会（CSA）の諸事業につきまして、ご支援・ご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

第37次救援衣類を送る運動は、新型コロナウイルスの世界的な拡散により集荷日程<2020年10月5日（月）～9日（金）>を延期します。

延期による新たな集荷日程は、

2021年10月4日（月）～8日（金）実施を予定します。

1. 延期する理由

- ①新型コロナウイルスの世界的な拡散により、日本及び支援国タイ・ラオスは、現在通常どおりの輸出入ができない状況で先行きも不透明な為。
- ②送る側（日本）、受取る側（タイ、ラオス）は非常事態宣言等の状態にあり、正常化する時期も不透明な為。
- ③支援物資（中古衣類）の性格上、送る側、受け取る側双方に不安がある為。

2. 救援衣類提供と輸送費募金のお願い

◆救援衣類の箱数は輸送費募金以内の箱数でお願い致します。「輸送費募金」は1箱につき1,000円以上でお願いします。衣類の支援でなく輸送費募金のみのご支援も承ります。

（ご参考）昨年の1箱輸送費実績は1,426円が必要でした。

2020.06.15 ラオス・シェンレーナ村小学校井戸再設置工事完了



▶ 台風で水没した井戸



▶ 工事の様子



▶ 完成した新しい井戸

シェンレーナ村小学校（CSA14 番目校・JP 労組東京地方本部寄贈校）の井戸再設置工事が6月15日完了しました。

ラオスへの小学校建設・補修は、CSAの主要事業のひとつであります。

昨年2月JP 労組東京菅谷副委員長を団長とする視察団は、CSAと協同で現地を訪問し、直接校長先生等の方々とさまざまな協議を行いました。

その際に一昨年発生した巨大台風により水没して流されてしまったので、井戸再設置の要望を受け帰国しました。そして、JP 労組東京の機関決定を経て本年1月に井戸新設工事を着工しました。新型コロナウイルスの影響で工期は予定より長くなりましたが、タンクを備えた新井戸が無事完成し、現地から感謝の声も届きました。



2020.07.06 ラオスクッサンバット村小学校校舎塗装補修完了



▶ 塗装前の校舎



▶ 先生も塗装します



▶ きれいになった校舎

1995年CSAがラオスに最初に寄贈したクッサンバット村小学校の塗装工事が7月6日完了しました。

本年1月ワーキング・スタディ・ツアーで、CSAチームは同校を訪問しました。その際、校長先生から「学校は生徒全員大切に使って、先生方で出来る補修は常に行っています。ただどうしても外壁の傷みは年々ひどくなっています。CSAの訪問団に塗装の支援をお願いしたい。」との要請を受けました。帰国後、支援組織の方々と相談の上、塗料と必要な材料の提供を行いました。

そして7月3日CSA現地から、塗装工事の完了報告とその写真が届きました。



2020.07.10 ラオス・サンティパープ高校生寮から
卒寮式の写真と感謝メールが届きました。



▶ 高校生寮の前でCSAと寮生 ▶▶



▶ 卒寮生全員に記念品贈呈 ▶▶



▶ 成績優秀者と校長先生（中央） ▶▶

2002年 CSA はラオスの高等教育支援の一環として、国内でも屈指の難関高校でありますサンティパープ高校に寮を寄贈しました。寮の建設は優秀な学力を有した生徒でありながら、貧困や遠隔地等の理由で進学をあきらめていた生徒の為に、男子・女子とも入居可能で、食事の提供も可能な寄宿舍・寮を寄贈し、学習意欲のある若者の救済を目的とし、そして現在も継続して CSA が寮運営全般の支援を継続しています。

本年1月に CSA 視察団が寮を訪問し生徒と交流しました。毎年5月には卒業に伴う卒寮式に出席しています。今年は新型コロナウイルスの影響で、ラオスへの入国は不可能となった為、卒寮生への記念品と成績優秀者への賞品を5月に送りました。その記念品等は、校長先生から生徒に渡して頂き、CSA からの祝辞を代読して頂きました。